

1 日 時

令和元年11月13日(木) 第5限 (13:00~14:50)

2 学 級

2年4組(男子23名 女子17名)(文系)

3 学級観

温かい雰囲気クラスであり、活動に対しても前向きである。英語の習熟度も高く、全員が進学をめざしている。

4 単元名 Lesson 2 Undokai in Malawi

5 単元の目標

マラウィで運動会を導入する日本の団体による活動がどのような効果があったのかについての文章を理解し、本文内での表現を学ぶ。そのうえで、まとめの探究活動として、発展途上国の開発援助の方策について調べ、発表する。

6 指導計画

1 時間目	PART 1	リスニング活動による本文概要把握
2 時間目		本文内容解説、文法事項の解説
3 時間目		音読活動で内容、表現の内在化。発展課題による深い学び
4 時間目	PART 2	リスニング活動による本文概要把握
5 時間目		本文内容解説、文法事項の解説
6 時間目		音読活動で内容、表現の内在化。発展課題による深い学び
7 時間目	PART 3	リスニング活動による本文概要把握
8 時間目		本文内容解説、文法事項の解説
9 時間目		音読活動で内容、表現の内在化。発展課題による深い学び
10 時間目	PART 4	リスニング活動による本文概要把握
11 時間目		本文内容解説、文法事項の解説
12 時間目		音読活動で内容、表現の内在化。発展課題による深い学び
総合的な学習の時間 14 時間		PC室での調べ学習 → 日本語原稿作成 → 中間発表 ※総合的な学習の時間の中で、テーマ設定、調べる活動をさせ、コミュニケーション英語Ⅱとの連携を図る。(別資料参照)
13 時間目		英語原稿の作成
本 時		班内発表をし、それに対して聴き手は、質疑応答をする。

7 本時の目標及び評価基準

(1) 目標

- ア 相手の考えを理解したうえで、自分考えを積極的に発信する。
- イ それぞれの班のテーマについて探究活動を通して自己表現することができる。
- ウ それぞれの班のテーマを批判的思考をベースに考察する。
- エ 受動態、受け身の動名詞などの意味、新出表現を理解する。

(2) 評価規準

① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	② 外国語表現の能力	③ 外国語理解の能力	④ 言語や文化についての知識・理解
相手の気持ちを理解したうえで、自分の気持ちを積極的に発信する。	発表の中で自分の意見が的確に相手に伝えられる。	発表者の発表内容を理解することができる。	受動態、受け身の動名詞などの意味や、新出表現を理解する。

8 本時の展開

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5min	1 手順の確認	スムーズに活動が行われるように説明をする。 発表後の質問については、内容を掘り下げるような質問（批判的思考に繋がる質問）をするよう口頭で指導する。		
40min (発表時間 各班 5分 + 質疑応答 5分)	2 クラス内交流	○各々が調べた内容について班ごとに交流する。生徒1人につき1分程度で班として5分程度の発表をする。 【対話的な学び】 ○聴く側の生徒は、ループリックに照らし合わせ、班ごとの評価を行う。 【対話的な学び】 ○発表が終わる毎に、聴き手に質問を考えさせ、英語で発表者に質問をする。発表者は、英語で質問に答える。 【深い学び】 ○4つの班が発表をし、残りの班は次回発表をする。	音量、発表姿勢、発音は正しいかなど、ループリックに照らし合わせて評価を行う。(①)(②)(④) 生徒が、理解して評価をしているかどうか、机間巡視で確認する。理解が難しそうであれば、発表者の発表スピードを落とさせるなど適宜調整する。(③)	机間巡視 ループリックによる発表者の評価
5min	3 まとめ	○本日の活動について振り返りシートを記入する。学んだこと、どこで学びが生じたのかについて書く。 【深い学び】		